

>> 研修センター通信 <<

今年も12名の初期臨床研修医が採用され、医師としてのスタートを切りました。4月1日～3日の3日間、臨床研修センターでは、オリエンテーションが行われました。このオリエンテーションでは、医師としての基本の心構えや医療安全についての考え方、実際の院内のシステムを、各部署からの説明や講義、実習を通して、初めての医療現場に出るための直前研修をします。

当院は臨床研修指定病院に指定されており、初期臨床研修医も上級医の監督・指導のもと、診療に参加しております。どうぞご理解とご協力をお願い致します。



～ 新研修医へのインタビュー

『オリエンテーションが終わって』～

意識して知識や技術を身につけて行き、さらに患者さんへの思いやりの気持ちを、変わることなく、忘れることなく、全て3つとも、しっかり兼ね備えていきたいと思えます。(井上)

まだ研修1年目で、右も左もわからないような状態ですが、やさしい先生・先輩方に助けていただきながら、これから仕事を一生懸命覚えて頑張っていきたいと思えます。よろしくお祈りします。(山口)

～～ 編集後記 ～～

新しい春を迎え、中部ろうさい病院も新しい体制になりました。加藤院長代理以下新副院長、新看護部長、新事務局長が着任されての体制がスタートしました。しかし、このフィリアレターで患者さんたちに当院の現状を情報発信していく姿勢は変わっていません。

さて本誌では、丸井救急部部長より「当院救急外来の現状」というレポートがあります。「時間外に受診された方から、専門医を求められると困ってしまう」という点が印象的でした。ぜひ一読をお勧めします。

また糖尿病センターの新体制について、なごやか検診(骨密度検診)のすすめ、災害派遣チーム(DMAT、ディーマットと呼んでいます)、お子様の手術に関して、市民セミナーの開催報告など盛りだくさんの内容です。

特に中高年の方は将来の骨折予防のために、骨密度検診をお勧めします。

今回は、通院中の患者さんだけでなく、職員一同にも役に立つ内容の号となりました。

今後の編集に関しまして、ぜひご意見をたまわりたく存じます。

(M.A.)

当院の理念

皆さんとの出会いを大切にし、苦しみを分かち合い、健康で潤いある生活を送れるよう職員一同努めます。

当院の基本方針

- ・ 医療の質の向上と安全管理の徹底
- ・ 生命の尊厳の尊重と患者さん中心の医療
- ・ 人間性豊かな医療人の育成と倫理的医療の遂行
- ・ 地域社会との密な連携と信頼される病院の構築
- ・ 災害・救急医療への積極的な貢献と勤労者に相応しい高度医療の提供